

養蜂をめぐる情勢

1. 蜜蜂の飼育動向	1
2. 蜂蜜の需給	2
3. 蜂蜜の流通	3
4. 蜂蜜の種類等	4
5. 蜜蜂産品の生産額等	5
6. 花粉交配用蜜蜂の貢献	6
7. 施設園芸等における花粉交配用蜜蜂の需給調整	7
8. 蜜蜂の転飼	8
9. 農薬による被害への対応	9
10. 蜜蜂の疾病への対応	10-11
11. 熊による被害の状況	12
12. 外来種であるツマアカスズメバチへの対応	13
13. 養蜂関係予算（養蜂等振興強化推進事業）について	14
（参考1）養蜂振興法の施行について（農林水産省畜産局長通知）のポイント	15-16
（参考2）蜜蜂の適切な飼育等の周知	17

令和7年11月
農林水産省 畜産局

1. 蜜蜂の飼育動向

- 蜜蜂の飼育戸数は、平成30年以降増加傾向で推移。蜂群数は、近年ほぼ横ばいで推移（平成25年の増加は、平成24年の法改正により、届出義務を業として蜜蜂の飼育を行う者以外の蜜蜂の飼育を行う者にも拡大したことによるもの）。
- 令和7年の蜜蜂の飼育戸数は12,150戸、蜂群数は24万2千群（1月1日時点の調査）。

蜜蜂飼育戸数、蜂群数

（単位：戸、千群、群／戸）

区 分	H24年	H25年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
飼育戸数	5,934	8,312	9,567	9,452	9,395	9,578	9,782	10,021	10,529	11,276	11,416	12,061	12,150
10群未満戸数	3,286	5,167	6,325	6,351	6,275	6,473	6,705	6,952	7,387	7,988	8,110	8,635	8,662
10群以上戸数	2,648	3,145	3,242	3,101	3,120	3,105	3,077	3,069	3,142	3,288	3,306	3,426	3,488
うち日本蜜蜂飼育戸数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6,085
蜂群数	184	204	213	212	213	213	215	213	224	242	237	236	242
うち日本蜜蜂の蜂群数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
平均蜂群数	31.1	24.5	22.3	22.4	22.8	22.2	22.0	21.3	21.3	21.5	20.8	19.6	19.9

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

注1：飼養戸数、蜂群数、平均蜂群数は1月1日時点の数を集計した値である。

注2：1蜂群とは、女王蜂1匹と約2万匹の働き蜂で構成された巣箱1箱を指す。

蜜蜂飼育戸数等の上位10県（令和7年1月1日現在）

区 分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	計
飼育戸数	長野	千葉	静岡	福岡	岐阜	岡山	群馬	埼玉	広島	愛知	全国
戸	569	494	474	444	443	409	401	386	386	379	12,150
比率（％）	4.7	4.1	3.9	3.7	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1	100
蜂群数	沖縄	長野	千葉	熊本	鹿児島	福岡	和歌山	福島	埼玉	広島	全国
千群	23.3	17.0	13.7	13.7	12.9	10.4	10.3	9.6	7.9	6.6	242
比率（％）	9.6	7.0	5.7	5.7	5.3	4.3	4.3	4.0	3.3	2.7	100

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

2. 蜂蜜の需給

- 蜂蜜の国内生産量は、令和6年は微減し約2千6百トン。
- 生産上位5県で総生産量の約4割を生産。
- 令和6年の国内消費量は約4万8千トンであり、自給率は約6%。
- 令和6年の蜜源植物の面積は、約100万ヘクタールと増加した。

蜂蜜の生産量、輸入量及び消費量

(単位：トン、%)

区 分	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
生産量	2,754	2,827	2,826	2,911	2,929	2,779	2,549	2,636	2,618
輸入量	48,445	42,821	44,521	44,788	49,348	47,132	47,276	41,924	45,416
うち中国	35,466	29,818	31,512	30,518	33,821	30,887	30,782	27,929	32,371
比率	73.2	69.6	70.8	68.1	68.5	65.5	65.1	66.6	71.3
輸出量	33	21	18	10	18	33	20	22	22
消費量	51,166	45,627	47,329	47,689	52,259	49,844	49,805	44,539	48,012
自給率	5.4	6.2	6.0	6.1	5.6	5.5	5.1	5.9	5.5

出典：貿易統計(輸入量、輸出量)、
畜産振興課調べ(各都道府県からの聞き取り)

蜜源植物の面積

(単位：千ヘクタール)

区 分	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
みかん	31.9	35.5	35.6	35.7	34.9	30.8	31.3	29.4	29.8
れんげ	8.4	6.6	4.2	4.2	3.7	3.0	2.7	2.6	2.6
アカシア	5.0	6.7	5.4	4.6	3.8	6.4	7.6	4.2	13.8
りんご	20.6	22.4	21.4	21.2	21.4	21.3	1.6	1.5	1.6
その他	54.9	60.8	52.0	51.2	43.7	55.8	56.6	41.1	52.5
合 計	120.8	132.0	118.6	116.9	107.5	117.2	99.8	78.8	100.3

出典：畜産振興課調べ(各都道府県からの聞き取り)
注：各県が1月から12月に蜜源として利用した面積として把握しているものを集計。
なお、一部の県では調査の中止や再開があるため、数値に連続性がないことに留意。

蜂蜜生産量の上位10県（令和6年）

(単位：トン、%)

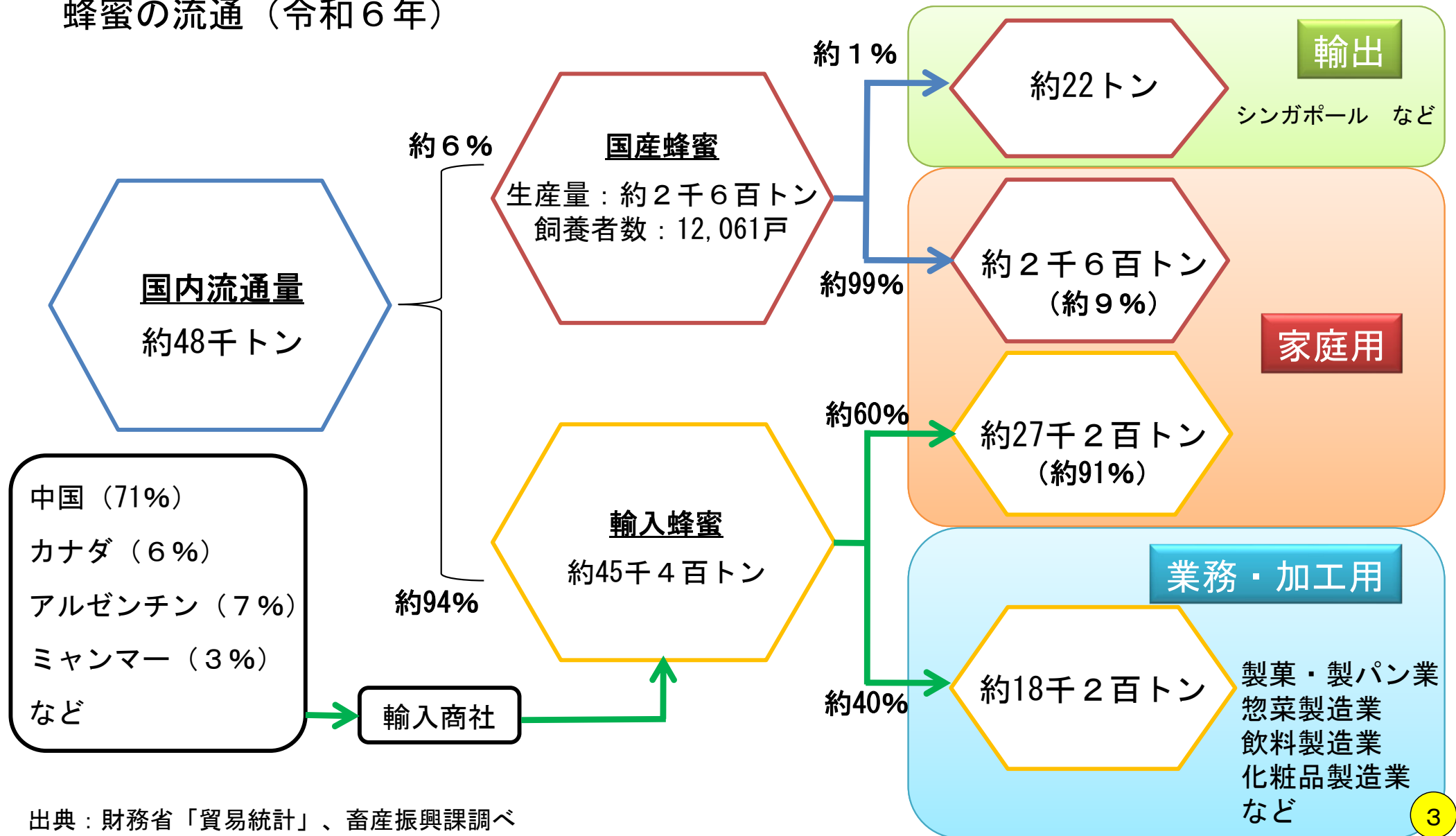
区 分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	計
	北海道	熊本	秋田	長野	青森	和歌山	愛知	静岡	福岡	愛媛	全国
生産量	356.4	244.2	229.1	218.8	134.3	115.9	100.5	92.3	89.5	85.2	2,618
比 率	13.6	9.3	8.8	8.4	5.1	4.4	3.8	3.5	3.4	3.3	100

出典：畜産振興課調べ(各都道府県からの聞き取り)

3. 蜂蜜の流通

- 国産蜂蜜のほぼ全てが家庭用仕向け。
- 輸入蜂蜜は約60%が家庭用、約40%が業務・加工用仕向け（製菓・製パン、化粧品等）。

蜂蜜の流通（令和6年）



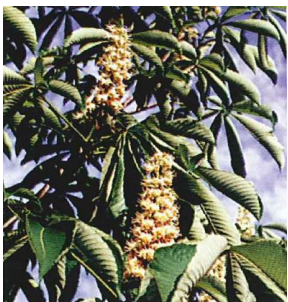
4. 蜂蜜の種類、色、価格

- 蜂蜜の種類は、蜜源の花により分類され、例えばアカシアの花の蜜はアカシア蜜として販売される。
- 蜂蜜の色は、蜜源の花の種類によって淡黄色から黒褐色まで様々。
- 価格については、国産は生産コストの違いもあり、中国産蜂蜜の数倍。
- 主な輸入先は中国であり、総輸入量の約7割を占めている。

種類・色



トチの花



レンゲの花



アカシアの花



価 格

・国産蜂蜜卸売価格

平均1,900円/kg (1,200円/kg ~ 2,500円/kg)

出典：（一社）日本養蜂協会からの聞き取り（令和6年）

・外国産蜂蜜の輸入価格

令和6年	数量 (t)	価額 (億円)	CIF価格 (円/kg)	課税後 (円/kg)
合 計	45,416	207	456	525
中華人民共和国	32,371	91	282	353
カナダ	2,918	25	852	886
アルゼンチン	3,120	14	442	555
ミャンマー	1,423	4	297	297
ニュージーランド	986	4	378	392

出典：財務省「貿易統計」

注：課税後価格は天然蜂蜜のWTO協定税率（25.5%）、TPP11税率（3.1%（1～3月）及び6.3%（4～12月））等により算出。

5. 蜜蜂製品の生産量・生産額

- 令和6年の蜜ろうの生産量は減少し約12トン。
(蜜ろうは、ろうそく、ワックス、化粧品、クレヨン等の原料として使用される。)
- 令和6年のローヤルゼリーの生産量は減少し約2トン。
(ローヤルゼリーは、健康食品や化粧品の原料として使用される。)
- 蜂蜜及び蜜蜂製品の国内生産額は、推定約77億円。このうち花粉交配用蜜蜂は約25億円と約30%を占める。

蜂蜜以外の生産物の生産量

(単位：kg)

種 類	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	令和5	令和6
蜜ろう	23,181	22,316	22,881	21,769	22,858	18,699	14,016	14,857	11,906
ローヤルゼリー	2,738	2,419	2,497	2,363	2,991	2,083	2,851	2,975	2,349

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

蜂蜜・蜜蜂製品の生産額（令和6年）

種 類	生 産 量	単 価	生 産 額（推定）
蜂蜜	2,618トン	1,900円/kg	4,974百万円
ローヤルゼリー	2トン	125,000円/kg	250百万円
蜜ろう	12トン	800円/kg	9.6百万円
花粉交配用蜜蜂 ^(※)	83千群	28,000～30,000円/群	2,324～2,490百万円
合 計			7,558～7,724百万円

出典：畜産振興課調べ（生産量は各都道府県からの聞き取り、単価は（一社）日本養蜂協会からの聞き取り）

(※) 花粉交配用蜜蜂の単価は、いちごの花粉交配用(3～4枚の巣板を1群として使用)を参考とした。